

今年も、各校区とも新型コロナウイルス感染症拡大防止のため新しい生活様式を取り入れて、各種活動を実践されていることと存じます。ごみ減量リサイクル関係では、国において、7月から「レジ袋の有料化」が実施され、また、福岡市では、10月から事業所のごみ出しルール変更で古紙分別が義務化されました。

令和2年度 第1回早良区環境活動連絡会議開催

7月28日(火)に新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、「早良区環境活動連絡会議」が開催されました。各校区代表者、各機関団体代表者の皆様の出席のもと、新役員選出、平成31年度事業報告、令和2年度事業計画など承認されました。新しい生活様式での3Rや環境美化の取り組みの推進など、活動の輪を広げていくことが話されました。

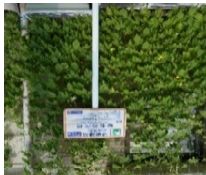
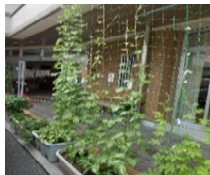
新役員・幹事の皆さんは次のとおりです。

- 会長 那須野昭士 氏 (中南部地区・田隈校区)
副会長 長 ハル 氏
(機関・団体 早良区老人クラブ連合会)
幹事 渡邊奈留美 氏 (北部地区・室見校区)
幹事 長谷川雅樹 氏 (中部地区・飯倉校区)
幹事 波呂 初徳 氏 (南部地区・曲渕校区)



緑のカーテン事業(一人一花運動)

今年も、苗植え等の作業を少人数で行うなど、新型コロナウイルス感染防止対策を取り、早良区では各公民館等、27施設で取り込まれました。



廃油せっけんづくり(飯原校区)

8月19日(水)に飯原公民館で、男女共同参画協議会(岡部会長)とエコ活動推進委員会(堀川会長)の共催事業として『万能の汚れ落とし! 廃油石鹸づくり』が開催されました。参加者30名で、新型コロナ感染防止対策をして、岡部会長の作り方の説明があり、牛乳パックに水、苛性ソーダを入れ、廃油を少しずつ加えて、ゆっくり30分くらいかき混ぜて作ります。密閉して約1か月したら完成です。参加者の方からは、「古い廃油の方が、早く固まってくる。」などと発見がありました。



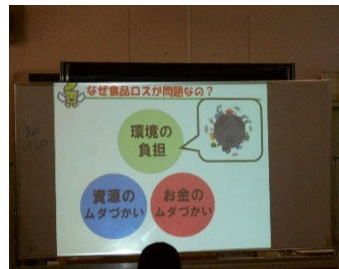
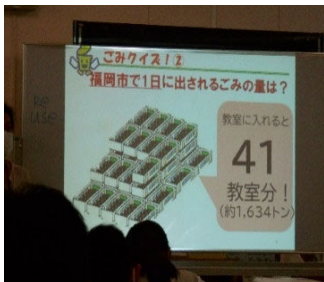
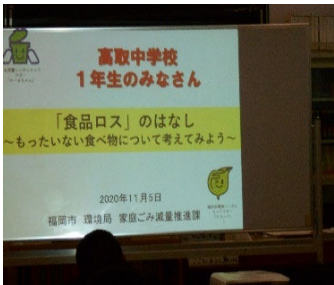
事業所のごみ出しルールが変わりました!

今年の10月1日(木)から、事業者から出るごみの出し方が従来の「燃えるごみ」「燃えないごみ」の2分別から「古紙」が加わり3分別になりました。事業系の「燃えるごみ」の中にリサイクルできる紙が約3割、含まれています。分別することによって、さらに、ごみ減量が進みます。



高取中学校「社会人講和授業」 「食品ロス」のはなし

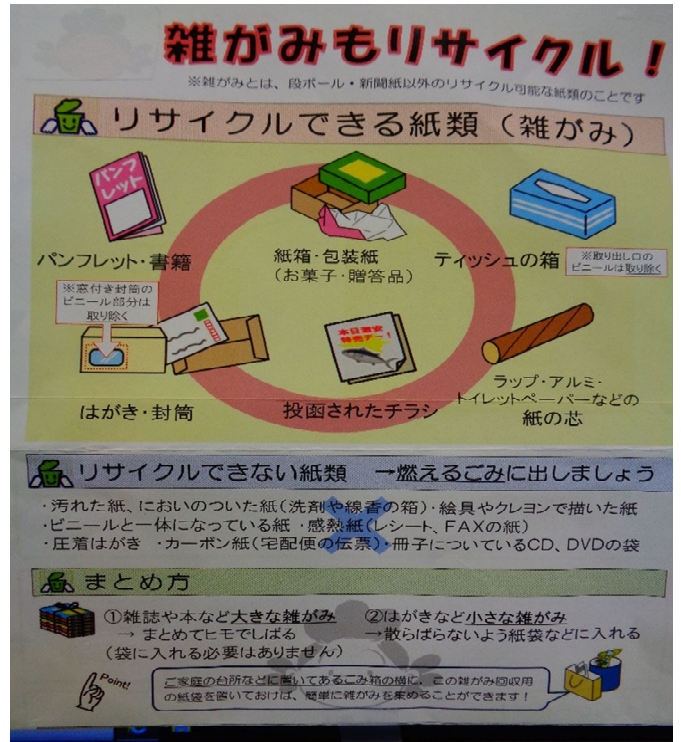
11月5日(木)に高取中学校の総合的な学習の時間で、社会人講話として1年生の生徒30名を対象に「食品ロスについて考えよう～食品ロスの現状」をテーマに環境学習が開催されました。講師については、高取中学校から高取公民館(高取校区ごみ減量・リサイクル推進会議)に依頼があり、環境局家庭ごみ減量推進課の田中和美さんをお願いしました。本市のごみの現状などクイズを出しながら、食品ロス削減をわかりやすく講義しました。講義後、生徒さんからは、「1日に出るゴミの量の多さに驚いた。」「ご飯を残さずに食べる。」「家族に今日、学んだ食品ロス問題を伝えたい。」などの意見が聞かれました。



雑がみ回収袋事業

早良区では、雑がみ回収袋を利用してモデル事業として、昨年、飯原校区で取り組まれ、大きな成果を上げました。今年も、大原校区、小田部校区、有田校区、内野校区などが校区、町内単位で取り組んでいただいております。家庭から出る燃えるごみの中には、まだまだ、リサイクルできる雑がみが混じっています。

雑がみの中で、菓子箱、ティッシュペーパーの箱(ビニール部分は取り除きます。)、封筒、チラシ、カタログ、パンフレット類、雑誌、本、紙製包装紙、紙袋、紙芯、ふせんなどは、リサイクル出来ます。



わらしべ文庫 「早良区役所1階ロビーに増設」

わらしべ文庫が、9月1日(火)から早良区役所1階ロビーに増設しました。70冊の文庫本、単行本、実用書などを設置しました。従来から設置している2階(21番市税の証明窓口横)のわらしべ文庫(250冊、文庫本・単行本・子供向け絵本・実用書)も併せてご利用ください。

(1階)

(2階)



本誌は、ごみ減量やリサイクル等の環境活動の実施団体等の活動及び区の取り組み等を周知することを目的に年1回発行しています。

取材へのご協力ありがとうございます。今後とも情報提供などよろしくお願ひします。